

【地方創生をめぐる現状認識】

① 人口・東京一極集中の状況

② 地域経済の状況

③ 地方創生をめぐる社会情勢の変化

④ 地方創生10年の成果と反省

[成果] 地方移住への関心の高まり など

[反省] 若者・女性の流出要因へのリーチ、
国と地方の役割の検討の不足 など

【地方創生2.0の起動】

① 3つの「目指す姿」 = 「強い」経済、「豊かな」生活環境、「新しい日本・楽しい日本」

② 6つの「基本姿勢・視点」 = 異なる要素の連携と「新結合」など

③ 政策の5本柱 = 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生 など

④ 各主体が果たす役割 = 国、地方公共団体、地域の多様なステークホルダー

⑤ 今後の進め方 = 国:取組に早期着手、2025年中に総合戦略を策定

地方:取組に早期着手、地方版総合戦略を見直し

⑥政策の5本柱に対応した「政策パッケージ」

- (1) 安心して働き、暮らせる地方の生活環境の創生
- (2) 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地方経済の創生
～地方イノベーション創生構想～
- (3) 人や企業の地方分散
～産官学の地方移転、都市と地方の交流等による創生～
- (4) 新時代のインフラ整備とAI・デジタルなどの新技術の徹底活用
- (5) 広域リージョン連携

国の基本構想を 踏まえた道の対応

- 「第3期北海道創生総合戦略」見直しの検討
- 見直しと並行した施策の早期着手・磨き上げ

【北海道ブロックにおける地方創生タスクフォース会議（6/30）提案事項】

- 国の出先機関との連携による北海道創生支援